

復旧・復興施策について

適切な事業執行を図る



山崎泰昌 議員

復興計画

そのほかの質問

- ◆第8次総合発展計画後期基本計画について
- ◆工事の状況について
- ◆まちづくりのための住民参加について
- ◆緊急時の学校の対応について
- ◆地域営漁計画について
- ◆観光地の復旧について
- ◆ドステイネーションキャンプについて
- ◆情報網の整備について
- ◆エネルギー施策について
- ◆消防団の復旧について
- ◆スポーツ施設の復旧について
- ◆ジユニア海外派遣事業について

質問 水産業の早期復旧を図るため、漁協だけでなく個人漁業者を支援する施策として、山田、船越両魚市場に水揚げした漁家に対し、水揚げ金額の何パーセントかを激励金、奨励金として町が支給してはどうか。

伊藤水産商工課長 漁家、

魚市場、買受人、水産加工業者から何の要望も受けていないので、今後要望があれば検討していく。

質問 柳沢北浜地区土地区画整理事業は防潮堤があることが前提での事業だと考えていたし、住民説明会でも防潮堤があれば浸水しないとの説明だったが、防潮堤のめども立たないうちに宅地造成を始めるのか。

沼崎町長 この事業は平成32年度までに完成させると住民に約束しており、現計画を基本として整備を進める。

質問 事業凍結された給食センターは町の復興、雇用創出、子育て支援のために今が凍結解除のときでは。
甲斐谷教育次長 ランニンググコストや給食費の負担、給食数の問題があり、その費用を復興事業に注げば復興が早まるので、まだ凍結解除はしない。

質問 浦の浜地区の入江田沼（マリンパーク跡地）付近の土地利用について、議会としては運河や水路にすべきとの考えであり、住民も半島から国道へつながる、高さのある道路を望んでいる。町の意向として

町の考えを聞く



柳沢北浜地区は計画どおり整備を進めます

国・県に申請しては。

沼崎町長 長大橋などの検討もしてきたが、事業費や維持管理費に巨額を要するので、町レベルでは困難と考えている。

県では、浦の浜の防潮堤をT.P.（東京湾平均海面）11・6メートルで計画しており、町では、この防潮堤の天端に道路を設置することで県と調整中である。

質問 船越小学校の仮設校舎建設は考えなかったか。授業中にバス移動するなど、学業に集中できないよ

岩船教育長 新学期スタートという状況下で、船越小学校区内に平坦な公共用地がなかったことや、学校施設に類似した環境を有する青少年の家が仮設校舎より教育環境上好であったことから、県に利用をお願いした。

質問 仮設住宅の子供のために自習室設置が必要では。

岩船教育長 従来の学習環境とは異なり、子供たちが不便を感じているのが実態である。関係方面と調整する。